

平成26年5月22日

より安全に、更なるサービスの向上を目指して

## 平成26年度 鉄道事業設備投資計画

京成電鉄（本社：千葉県市川市、社長：三枝 紀生）では、平成26年度に鉄道事業で112億円（対前年比106%、+6億円）の設備投資を実施し、安全輸送の確保やお客様サービスの向上に努めてまいります。

- ・地震や風水害に備えるため、耐震補強工事や法面補強工事等、災害対策工事を推進します。
- ・ATS（自動列車停止装置）の機能向上工事を引き続き推進します。今年度は京成高砂駅～八千代台駅間で供用を開始します。
- ・運転保安度の向上を図るため、軌道変位が生じにくいマクラギへの交換やロングレール化等、鉄道施設の更新・改良工事を行います。
- ・省エネルギー車両の3000形（8両×2編成）を新造します。
- ・押上線押上駅～八広駅間の連続立体交差事業について、平成28年度の事業完了に向けて、下り線の高架橋築造工事を行います。
- ・京成津田沼駅の駅舎改良工事に着手するほか、お客様トイレのリニューアルを行います。
- ・運行情報ディスプレイの設置を進めます。



上り線が高架になった京成曳舟駅

平成26年度の鉄道事業設備投資計画の概要は別紙のとおりです。

(別紙)

## 平成26年度 鉄道事業設備投資計画について

1. 投資額 112億円 (対前年比106%)

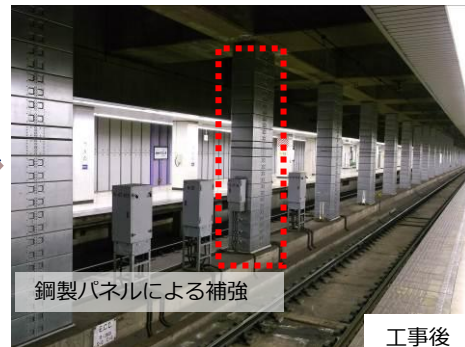
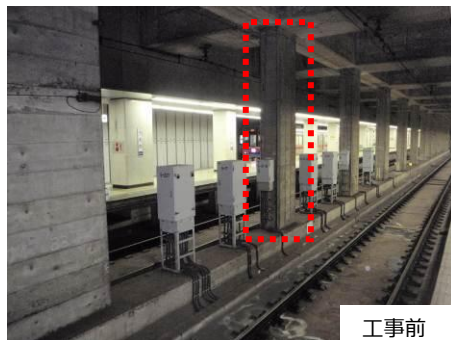
2. 概要

### (1) 安全対策の強化

#### ① 災害対策の推進

<地震対策> 耐震補強工事

当社では大規模地震への対策強化のため、駅舎、高架橋柱、トンネル中柱の耐震補強工事を実施しております。今年度は、京成津田沼駅と京成成田駅の駅舎、京成本線の京成上野～国府台間の一部高架橋柱、並びに京成本線の京成上野～日暮里間、押上線の押上～京成曳舟間のトンネル中柱の耐震補強工事を実施します。



トンネル中柱の耐震補強工事の一例 (京成上野駅)

<大雨対策> 法面補強工事

集中豪雨などの際に法面（線路脇斜面）の土砂が流出することを防ぐため、検見川～京成稲毛間をはじめとした5箇所、法面の補強工事を実施します。併せて、線路内への雨水流入を防ぐため、線路脇へ側溝を敷設する工事も行います。



法面補強工事の一例 (検見川～京成稲毛間)

## ② A T S（自動列車停止装置）の機能向上

平成20年度から、A T S（自動列車停止装置）の保安度を向上させたデジタルA T S（C - A T S）の導入を進めております。

今年度は、京成高砂駅～八千代台駅間で供用を開始します。

## ③ 鉄道施設の更新・改良

線路の下に撒く碎石の厚みを増す工事や、軌道変位が生じにくいマクラギ（ラダーマクラギ）への交換、ロングレール化等を行い、運転保安度の向上ならびに乗り心地の改善を図ります。また、安定的な電力供給のため、変電所の設備機器や電力管理システム等の更新工事を行うほか、自動障害物検知装置や、転てつ器、通信ケーブル等、信号・踏切・通信設備の更新工事等を計画的に推進し、運転保安度の向上を図ります。

## ④ 車両新造

電力回生システムを備えた省エネルギー車両の3000形（8両×2編成）を導入します。この車両は、省エネルギー性に優れたVVVFインバーター制御を採用しているほか、全ての客室内照明を節電効果の高いLED照明とし、使用電力量の低減を図ります。この他、車いすスペースを1編成あたり2か所に設置、車内ドア上には液晶ディスプレイ（LCD）を設置し、4か国語（日・英・中・韓）で駅名等の案内が可能な、人にやさしく環境に配慮した車両となっております。なお、今年度の新造車より、快適な車内環境を提供するため、紫外線を遮るUVカットガラスを新たに採用します。



▲LCDモニター



▲LED照明



▲新造する3000形車両



⑤ 駅ホームの安全対策の強化

視覚に障害をお持ちのお客様が駅ホームから転落する事を防止するため、ホーム内側部分に線状の突起を付け、ホームの内外を知らせる内方線付点状ブロックを京成小岩駅、国府台駅、京成臼井駅、京成金町駅、京成幕張本郷駅、千葉中央駅に設置します。

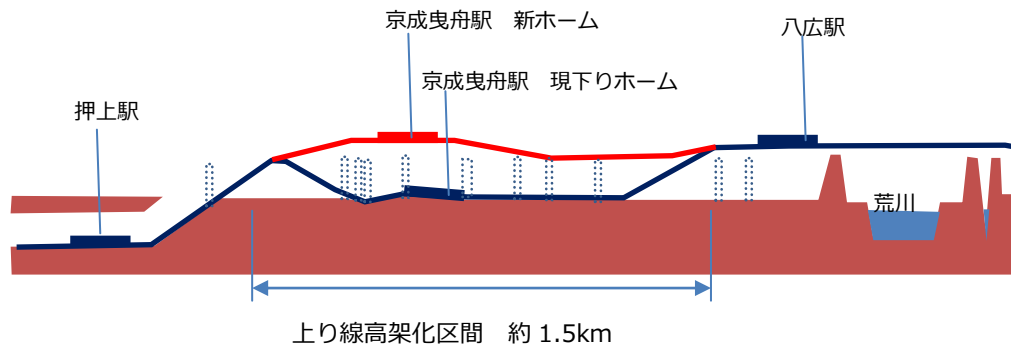


▲内方線付点状ブロック

⑥ 押上線連続立体交差事業の推進

<墨田区内連続立体交差化工事（押上～八広間 1.5 km）>

押上線の押上～八広間において、東京都の都市計画事業として連続立体交差事業を行っております。昨年度は上り線の高架化を行い、踏切遮断時間が4割削減されました。今年度は平成28年度の事業完了に向けて、下り線の高架橋築造工事を行います。この事業の完了により、鉄道と道路が立体交差化されることで8箇所の踏切が除去され、交通渋滞の解消、鉄道・道路それぞれの安全性の向上が図られます。



▲墨田区内連続立体化工事 縦断面



▲上り線高架化前の押上線（明治通り）



▲上り線が高架になった京成曳舟駅



▲京成曳舟駅上りホーム

<葛飾区内連続立体交差化工事（四ツ木～青砥間 2.2 km）>

引き続き用地買収等を実施し、事業の推進を図ります。

## (2) サービスの向上

### ① 駅施設のリニューアル

＜京成津田沼駅の駅舎改良工事に着手します＞

1・2番線ホームおよび3・4番線ホームにエスカレーターを追加設置するほか、乗換え通路を拡幅することで、新京成線とのお乗換えがスムーズになります。また、コンコース内に店舗を新設し、ご利用のお客様の利便性向上を図ります。なお、工事の完成は平成27年度を予定しております。

＜お客様トイレのリニューアル等を行います＞

平成23年度より、駅を快適にご利用いただくため、お客様トイレのリニューアルを行っております。今年度は、京成関屋駅、京成高砂駅のお客様トイレをリニューアルします。また、老朽化した新千葉駅のお客様トイレの改修を行います。



▲（参考）25年度にリニューアルした八千代台駅トイレ

＜待合室のリニューアルを行います＞

電車を快適にお待ちいただくため、町屋駅、青砥駅の待合室をリニューアルします。

### ② 運行情報ディスプレイの設置

昨年度より、異常時の運行状況や振替輸送をわかりやすくご案内するため、運行情報ディスプレイの設置を行っております。今年度は押上駅、青砥駅、京成成田駅、京成千葉駅等13駅に設置します。



▲（参考）25年度に設置した運行情報ディスプレイ（京成船橋駅等6駅に設置）

### ③ 駅売店のコンビニ化

昨年度より開始した駅構内売店のファミリーマートへの転換を、今年度も継続して実施します。これにより、幅広い商品を取り揃えお客様に提供するほか、営業時間を拡大し、公共料金等代金収納やコンビニATM等のサービス、各種決済サービスに対応する等、ご利用のお客様の利便性向上を図ります。



▲（参考）25年度に転換されたファミリーマート（日暮里駅等、7駅8店舗を転換）

**(3) 環境対策****① 駅・車内照明のLED化**

さらなる環境負荷の低減を図るため、青砥駅、京成千葉駅等の外灯照明と、京成関屋駅、京成高砂駅のお客様トイレの照明をLED化します。

また、本年度新造する3000形車両（8両×2編成）の客室内照明を全てLED照明とするほか、既存の3700形車両（8両×3編成）の客室内照明をLED照明に変更します。

**② 環境にやさしいクーラーへの交換推進**

車両のクーラー更新に伴い、冷媒をオゾン層への影響が少ない種類のフロンに交換します。

以 上